



日高山脈博物館だより

HIDAKA MOUNTAINS MUSEUM NEWSLETTER

日高山脈博物館は「ジオ・ミュージアム」
道内唯一の地質と岩石の登録博物館！

通算 第60号 2020. 2.

道内学芸員の中では少数！ 地質と岩石が専門の 日高山脈博物館学芸員の主な活動報告

町内小学校、道内博物館やジオパークなどから、地質や岩石の講師依頼を多くいただきました。

2019(平成31・令和元)年度は、日高町内の小学校、美幌博物館やとかち鹿追ジオパーク、国立日高青少年自然の家、日高町スポーツ少年団指導者協議会などから、授業や講演、講座での講師の多くの依頼をいただき、講師を務めることができました。

日高山脈博物館内の解説案内や、道内博物館やジオパークの周辺に位置する河原での、岩石や鉱物採集や調べ方の実習、それぞれの河原にある岩石の由来や地域の地質の成り立ちの解説など、地質や岩石が専門の学芸員の能力を十分発揮させていただくことのできる内容の依頼でした。

私が、地質や岩石に関係する授業・講座・講演などの講師の依頼を受け、講師を務めることで、地質や岩石を主とする当館の存在や特性、重要性も広く知ってもらえることができると考えています。今後も、このような依頼をしていただけるよう、学芸員としての能力を向上し、内外への周知など、博物館の学芸員の業務に励みたいと思います。



2019年9月22日実施の、とかち鹿追ジオパーク推進協議会から依頼を受けた講座での様子（とかち鹿追ジオパーク推進協議会 Facebook ページより）

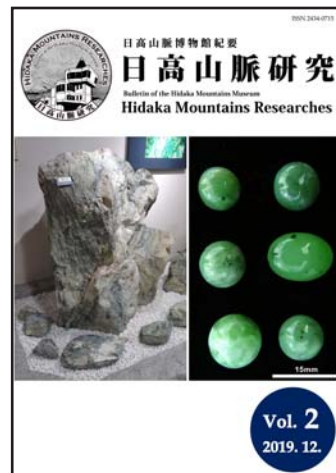
日高山脈博物館紀要「日高山脈研究」第2号発行しました。

今号は、博物館学芸員の、日高周辺地質の研究成果の一部をまとめた学術的論文を掲載。

日高山脈博物館紀要「日高山脈研究」は、日高山脈博物館が発行する、電子媒体のオープンアクセス研究紀要です。2018(平成30)年に創刊したこの研究紀要、このたび、第2号を発行しました。

第2号には、日高地域やその周辺によく見られるロジン岩（日高ヒスイも含まれています）という岩石のでき方の違いから、日高地域に多く見られる蛇紋岩体の地質の成り立ちを考察した論文を掲載しました。ぜひ当館HPよりアクセスいただき、ご一読くださいますと幸いです。

なお、論文の内容の解説などにつきましては、論文の共同執筆者の一人の、当館学芸員が対応しますので、よろしく願いいたします。



日高山脈博物館のホームページ上でも掲載しています。こちらでは、写真などがカラーとなっています。ぜひご利用下さい。⇒ ホームページ (<http://www.town.hidaka.hokkaido.jp/hmc/>) の新着情報からどうぞ。